



昨日日曜 日九十月八年九和昭 郵便十五分 第一二三番 寄附金 一円 四十分 寄附金 一円 四十分 寄附金 一円 四十分

農選重役の改選から

石城政友新舊の分裂

郡北に築く壘と郡南菊田の陣

農選の重役改選は會てない。二十七日朝平野出發の警備隊の奔走で安協に努めたが効なく遂々大混戦に勝敗を決する最後の落となった。激しい競争の中に於て殊に興味視されるものは石城郡で諸橋、金成、兩派入り亂れての運動に勝敗全く断じ難く十九日の結果が何れに勝利されても同郡政友派に扶ふべからざる禍根は免かれず敵黨から得たり顔の嘲笑を投げられてゐるが事の結果による向後の分野は舊政友系によつて固められる郡北の勢力は今回の諸橋氏擁立派に有利を測測され新政友系の色彩多分な金成派は郡南舊系多に主力を築くものと語られてゐる。而して此の對立は来るべき縣選及び衆議改選にも自ら區別され平野を初め龜裂分立に濃厚な影響をもつ町村にまで累を及ぼし向後事毎にその副産物的紛争を招来するであらうと観られてゐるが動搖はそれのみに止まらず今回投じられた一石の波紋は總て石城の政界に對し尙ほ擴範圍な動きを見る時機が来るであらうと語られてゐる。

石城果樹組合聯合團の視察

平町内某果樹店の娘お何(三)とあるが店員久保田義美假名は從來幾度か兎角の噂を受け、今から五、六年前町内材木

徹底しない人夫移動の手筈

平町國道の舗装工事は商家に於ける舊盆の普入時のため昨十七日一時中止し同工事に従事してゐた約四十名の労働者には之れまた盆前の移居を失はせぬ様に平野農協紹介所では内二十名を夏井川改修に移し残る労働者を平土木監督所の作業に任せ總ての手筈を整へた筈であつたが昨夕工事現場係の中渡しが徹底しなかつたのか今朝職業紹介所に失職の泣きを訴へてゐるものもあつた。

三坂青年のごたく

有志の調停で解決す

消防組頭その他平署に出頭

石城郡三坂村の下三坂青年分団員等が團長の改選から二派に分れ草野貞一(三〇)が三十四票で當選したに對し僅か二票の差で落選した鈴木源一(三三)は八日消防組頭その他平署に出頭し剣道器具類を奪取した紛争を起し平署の取調へあり

受驗勉強が取もつ

母と教師のいたごころ

現状を認めたま憤慨して…… 舊主の娘ではあるが離縁

座講識常 コスモポリタンは民族的色彩とか政治、社會文化上の國家的障害を打散して世界人が一族の如く生活しやうと云ふ世界主義の意図をせばた一定の居所なき浪人暮の人を云ふ、

前借八十圓を持逃げされる

逃げる

石城郡内郷村の綴字秋山居住板倉しなの娘とめ(二〇)は村内綴字前の橋本カフエーに前借八十圓で女給となつたが家事が近いので暇をとり此の程平町三丁目北裏に開業したレストラ平會館に住替へて前借八十圓を借受け橋本カフエーに支拂ふべく同村大字白水天野正(三三)に依頼したところ定正は該金を預つたまゝ行方不明となり平署で所在捜査中だがめは橋本カフエーの苦情に悩まされてゐる。

横領の告訴へ

伴への貸

美人畫の賣却を差挟んで争ひ 平町宇南町阿部秀幸(三〇)は昨年十二月石城郡神谷村の中神谷宇石三〇長壽男(六六)から青木南冥筆の美人畫絹本一幅八十圓を賣却してこれに依りたるを寄貸としてそれを他に賣却して代金を長に支拂はず被害者から横領の告訴を受けて平署の取調へ中である。

宮田翁の

講話

この機会に於てどうしても事を上げなければならぬ、それは同志にも通知をせしやうとなつて私は相馬から東京へ来るのを引受け相馬の浪江在に蒞宿(仲宿)を呼びに行つたとある恰度村會の日で議員をしてゐる蒞宿に詳細な話が出来

二日間の給料金六十圓

直ぐ逃げる

石城郡内郷村の綴字町内戸勇喜の長女御代(二七)は去る七月十七日東京市品川區王子町遊藝場酒井淺次郎方へ前借百五十圓で向ふ三年間の奉公を約束し内金六十圓を渡されて僅か二日間に遊藝場に働いたばかりで無断家出し自宅へ歸つたため雇主から勇喜に對し前金六十圓を返してくれと再三請求したが應じないので被害者から平署に説諭方を願出で昨十七日川島警部補の取調を受け前借金圓を返還する誓書を入れて引下つた。

鐵橋で老父の死

昨報石城郡警部補地内藤原川鐵橋に於て河津に出かけを途轍された老父は湯本町八仙坑夫小口一郎の實父秀吉(六六)十七日朝伴一郎と共に同所に出かけ鐵橋上から伴の釣釣を受けて平署の取調へ中である。

手くせの悪い女給御用

石城郡湯本町の三崎料理店川崎作方に女中奉公してゐた佐藤とし子(三三)は本年五月同家の女中板倉とめから懐中時計一個を借りて郡内泉村驛前

富士カフエーに住替へ前記の時計を一個五十錢で賣却した後行方不明であつたが最近に至り四倉町宇新海岸のカフエーに女給になつてゐるのを被害者に突きつけられ平署に訴へられて今十八日檢事取調中だがとし子は性來手癖が悪く川崎方に居る頃女中あさ子の現金一個在中する裏口を盗んだことがあると

謹告

東京日日新聞平支局橋本信一郎君今般郡山支局に榮轉近日赴任の筈に付同君の爲に左記により送別會開催、多數御出席相仰度此段謹告致します、尙御出席の方は當日正午迄平野後協記者室宛御申込下さい 發起人 平町長 青沼鋒太郎 平署長 横山宗延 平日刊記者團 幹事 會場 谷口樓 期日 八月十八日午後六時 會費 貳圓也

お盆の大賣出し

新型品を取揃へて御座います 在荷豊富で値の安い店 (會津桐) 小松履物店 (自製専門) 平町警署通り 電話六七三番 お盆の御用意には特に勉強 景品で人氣を求めぬ代りに品々 値段をみな様の驚くほどお安く

杉本記者の送別 宴に赴任豫定 東京日日新聞平野通信部から郡山市同社通信部に榮轉した橋本信一郎氏のため今十八日谷口樓に送別會を催されたが出席者は地方有志に日記記者を合せて五十名定刻午後六時蒞起人代表の青沼平町長開辭を述べ橋本氏の謝辭ありて宴に移り同八時過ぎ散會したが橋

